

平成 26 年度 事後評価点検表（内部評価）

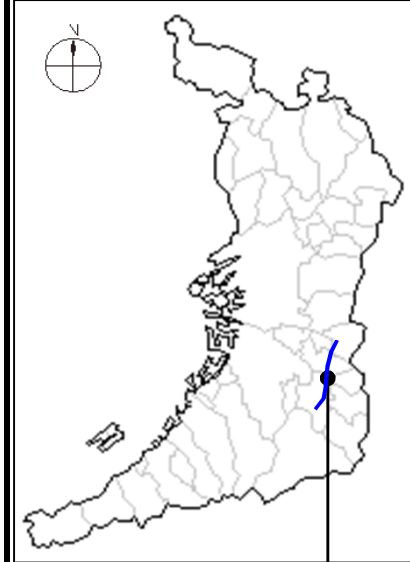
事業名	石川河川公園整備事業
担当部署	都市整備部 公園課 公園整備グループ（連絡先 内線 2 9 8 2）
事業箇所	柏原市・羽曳野市・富田林市・藤井寺市・河南町
内容	都市計画決定 170.6ha 開設 73.7ha(H24.4) 自然ゾーン・あすか野草広場（散策路、観察デッキ、説明板 等） 西行うたのみち・あすか歴史の里（園路広場、石碑 等） 玉手橋であいの岸辺・千早つどいの広場（芝生広場、休憩施設 等）
関連事業とその現状	石川環境整備事業 南河内サイクルライン（事業完了）
社会経済情勢の変化	大阪府広域緑地計画（H11.3）において、五大水辺空間、周辺三山系及び市街地の中央部を結ぶ中央環状緑地群で構成されるみどりのネットワークの骨格の一つとして石川河川公園が位置付けられた。
事業実施による自然環境の変化	自然豊かな石川本来の川原風景の保全・創出を目指して、行政・地域住民・市民団体・学識者・専門家等の様々な分野の人々が協力しながら希少植物（ミゾコウジュ）の保全など自然を守り育て、次代に残していくためにワークショップ方式による様々な活動を行うなど自然環境のより一層の向上を図る取り組みを行った。
最終評価時の意見具申（付帯意見）と府の対応	【最終評価時の意見】 要望事項：府民の自然環境に対する意識の中で、特に本事業のように自然環境の残る河川敷を活用した公園については、できるだけ現在の環境を活かし、自然とふれあえる場として整備を図ることが重要である。今後とも、本事業を進めていくにあたっては、従来の施設整備を中心とした公園事業から発想の転換を図り、こうした府民ニーズや社会経済情勢の変化に適切に対応しながら、効率的な施設整備とともに、ボランティアとの連携による維持管理など府民との協働も積極的に推進されるよう要望する。 【府の対応】 事業をすすめるにあたって、ワークショップの実施・河川公園に対する地域の関心を高める啓発活動の展開等を通じて、府民が求める自然環境や公園のあり方に適切に対応していくとともに、効率的な施設整備が図られるよう留意した。

	【最終評価時点 H18】	【完了時点 H23】	【分析】
事業費	全体事業費約 259.0 億円 （国：129.5 億円、府：129.5 億円）	全体事業費約 259.0 億円 （国：129.5 億円、府：129.5 億円）	最終評価時点と変更なし
①事業期間	22 年	20 年	行財政計画の見直しにより、事業費配分を見直したため。
②採択年度	平成 4 年度	平成 4 年度	
③着工年度	平成 4 年度	平成 4 年度	
④完成年度	平成 25 年度（認可）	平成 23 年度（認可）	

定量的効果 (費用便益分析等)	<ul style="list-style-type: none"> ・B/C=2.16 便益総額 B=575.4 億円 総費用 C=266.4 億円 ※国土交通省都市地域整備局公園緑地課監修「改訂大規模公園費用対効果分析手法マニュアル」による 	<ul style="list-style-type: none"> ・B/C=2.16 便益総額 B=575.4 億円 総費用 C=266.4 億円 ※国土交通省都市地域整備局公園緑地課監修「改訂大規模公園費用対効果分析手法マニュアル」による 	最終評価時点と変更なし
事業効果の定性的分析 (安心・安全、活力、快適性等の有効性)	<p>【効果項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心・安全 河川を公園整備することにより、高水敷利用の安全性が向上する。さらに、自然環境を保全・創出することで市街地に風の道が生まれ都市全体の大気浄化やヒートアイランド現象の緩和など都市生活者にとって安全・安心につながる。 ・活力 「石川河川公園 自然ゾーン計画・運営協議会」の設立により、企画段階から地域住民代表や教育関係者が関わることとなり、より一層、府民や地域住民の自己実現、社会参加が図られることとなった。また継続的な活動に対する位置付けが明確化になった。 ・快適性 川本来の自然の仕組みを生かすことにより、様々な水生昆虫や植物と出会えたり、川のさざなみを感じながらゆったり・のんびり過ごせるなど、精神的にリフレッシュできる。 【受益者】 公園利用者、府民 	<p>【効果項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心・安全 同左 ・活力 同左 ・快適性 同左 【受益者】 公園利用者、府民 	最終評価時点と変更なし
その他特記事項	特になし		
評価結果 (事業効果の発現状況等)	<ul style="list-style-type: none"> ・H26.3 末現在 開設面積：73.7ha 年間来園者数：約 25 万人（H25） 満足度調査：「満足している人」が 9 割以上 ワークショップの継続開催、各種啓発イベントの実施により、地域の関心を高める啓発活動に努めた。また、平成17年度に「石川河川公園 自然ゾーン計画・運営協議会」を設置し、府民・学識者・行政（府、羽曳野市、富田林市）が一体となって、協議・提案を行い、自然ゾーンの整備及び管理を実施している。 本事業は「都市周辺の自然環境を保全する重要な水と緑のオープンスペース」として整備及び管理を行っており、本事業目的は、達成されている。 		
今後の同種事業に対する改善措置等	特になし		

平成26年度 事後評価 (石川河川公園整備事業)

事業箇所図



事業箇所:石川河川公園

- 【凡 例】
- 計画決定区域
 - ▨ 開設区域

